

## J-LIS 被災者支援システム V10.00 (最新版)講習会のご案内

新たな災害が起きる度に、改めて全国の地方公共団体は何をなすべきか、問い直されています。もしも大規模な自然災害に見舞われたとき、直ちに被災者を救護・支援し、迅速かつ的確な復旧作業を行っていくことが出来るのか、地方公共団体には大きな責任と期待がかかっています。

1995年に発生した阪神・淡路大震災では、西宮市のほぼ市街地の全域が被災し、市庁舎も大きな被害を受けました。コンピュータ機器やネットワーク回線も大きなダメージを追った中で、市の日常業務の復旧と合わせて、被災者を支援するシステムを構築し、被災者、復旧・復興支援業務に大きな力を発揮しました。

この被災地の経験と教訓、情報化のノウハウを活かした西宮市の「被災者支援システム」は、汎用 Web システムとしてさらに進化・リニューアルし、地方公共団体情報システム機構から全国の地方公共団体に無償で公開・提供されています。導入団体は、今や1千団体を超えています。

特に、今年の能登半島地震での石川県等の大失態を目の当たりして、他県や基礎自治体からオンプレミス版の紹介や導入要請並びに危機管理講演の申込みが激増しております。このセミナーは、「被災者支援システム」の導入を図る全国の地方公共団体の技術支援をされます事業者様のお取り組みにご活用いただくべく、システムの詳細について事前講習会として開催するものです。阪神・淡路大震災以降の30年にわたり、さまざまな経験や教訓を取り込んできた J-LIS 被災者支援システム Ver. 10.00 は「住民の命を守る」システムとして、飛躍的な進化を遂げており、今や自治体の各種行政施策に対する「住民総合支援システム」としても活用されており、その価値は単なる「被災者支援」の枠を超えたものになっています。

なお、本講習会に参加されました事業者様は、「導入支援企業」として、ホームページに掲載させていただきますことをご了承ください。

1. 日 時 令和6年12月13日(木) 午前10時00分～午後5時30分  
①午前の部(10:00～12:30) 危機管理講演会  
②午後の部(13:30～17:30) システム概要等
2. 場 所 西宮浜産業交流会館 (NICC) 2階プレゼンテーションルーム
3. 内 容 被災者支援システムの詳細、及び導入から運用までの各事項について
4. 主 催 J-LIS 被災者支援システム全国サポートセンター (運営受託者: システムエージ)

### ■会場

西宮浜産業交流会館 (NICC) 西宮市西宮浜1丁目31

### ■アクセス

バス: JR西宮駅南口または阪神西宮駅えびす口より「マリナパーク」行 (西宮浜線) に乗車。「西宮浜東第一」下車徒歩すぐ。

所要時間: JR/約20分、阪神/約10分

車: 札場筋を南下し、西宮大橋を渡り、最初の信号を左折。すぐ右の建物。  
(建物南側に有料駐車場有)

### ■詳細は担当までお願いいたします

J-LIS 被災者支援システム全国サポートセンター (運営受託者: システムエージ)

(TEL:0798-32-8866) 担当: 平井・吉田

お申し込みは、FAX (0798-32-8865)

または E-mail ([hss@system-age.co.jp](mailto:hss@system-age.co.jp)) でお願いします。

FAXの場合は別紙「回答書」をご利用下さい。

E-mailの場合は回答書の事項をご記入の上お送り下さい。

